

# 第9回まちなかストリートデザインラボ 開催報告書

---

八戸市商工労働まちづくり部 まちづくり推進課

令和6年1月26日

# 1. 開催概要

## 目 的

本ラボは、国道340号三日町-十三日町区間の街路を、居心地が良く歩きたくなるストリートへ再編するための街路づくりの勉強会であり、新しい「まちづくり」を「みちづくり」からはじめるものです。

街路の整備や使い方の事例に精通する有識者をお招きし、昨年度後半より参加者を沿道関係者に限定して開催して、街路の整備や具体的な使い方などについて検討していただいておりますが、その中でいただいた街路の課題やご意見を吸い上げた上で、「八戸市中心街ストリートデザインビジョン(案)」に反映し、道路管理者である青森県に提示して街路再編につなげていくために開催するものでございます。

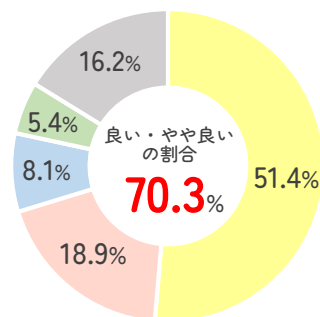
- |            |                                                              |                                                       |             |
|------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------|
| 1. 日       | 時                                                            | 令和6年1月11日(木)                                          | 15:00~17:00 |
| 2. 場       | 所                                                            | 八戸ポータルミュージアム                                          | 1F シアター1    |
| 3. 講       | 師                                                            | 株式会社設計領域                                              | 代表取締役 吉谷 崇氏 |
| 4. 内       | 容                                                            | アンケート結果の報告、街路の現状、再整備案など                               |             |
| 5. 参 加     | 者                                                            | 27名(他、八戸工業大学、青森県関係課、青森河川国道事務所、<br>(株)まちづくり八戸、市関係課が参加) |             |
| 6. ワールドカフェ | 「活動・ハレの日」「交通」「街路と店舗」「空間配置・しつらえ」「天気と季節」の5つのテーマについて意見を出し合っていた。 |                                                       |             |

## 2. 沿道関係者に実施したアンケート結果について

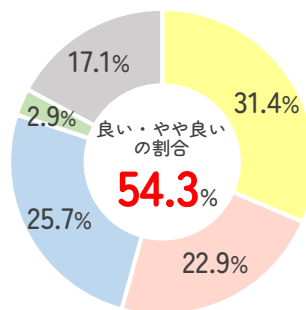
- (1) 概要
- 対象者 三日町・十三日町沿道関係者等
  - 回答率 44.7% (38/85件)

- (2) 内容
- 実証試験の印象について  
全体的な傾向としては、実証試験の来場者向けアンケートに近い結果となりました。

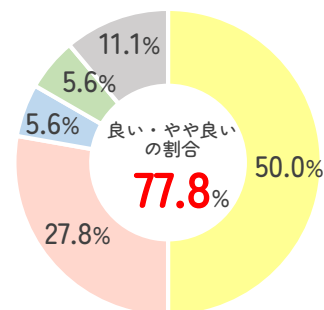
人中心の空間が増えること



歩道が広がること



歩道や沿道に休憩スペースがあること



良い

やや良い

どちらとも言えない

あまり良くない

良くない

- 歩道や沿道で日常的に行った方が良いと思う取組については、キッチンカーの出店 (58.3%)、休憩スペースの設置 (55.6%)、露店の出店 (47.2%) 子ども向けスペースの設置 (38.9%) の順に挙げられました。
- ストリートの将来像を考えるに当たって、何を大事にするべきかについては、主なものとして沿道の魅力的な店舗 (73.0%)、三社大祭の開催 (70.3%) が挙げられました。
- 渋滞が発生することについては、52.8%の方が多少の渋滞はやむを得ないと回答がありました。
- 路上の駐停車については、荷捌き等の必要なものに限定するべき (61.8%)、時間帯など利用のルールを検討するべきと回答がありました。

### 3. 街路の現状について

|            | 三日町・十三日町                                                                             | 他街区                                                           |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| (1) 歩道の舗装  | ● 現在はタイル。水を通さないため滑りやすく、目地が大きいので雪かきもしにくい。                                             | ● 八日町や六日町などは、水を通すインターロッキングを採用しており、水はけがよく滑りづらい。目地が小さく雪かきもしやすい。 |
| (2) 街路樹    | ● 十三日町はケヤキ。生育が進み大きな木陰を生むが、落ち葉が多く維持管理が負担。<br>● 三日町はエゴノキ。生育が進んでいないものが数本あり、低いものは人の背丈程度。 | —                                                             |
| (3) 歩車道の段差 | ● 歩道と車道の段差は20cm。マウントアップ形式と呼ばれるもので、中心街では十三・三日町のみ。                                     | ● 廿三日町や六日町、八日町は、歩道と車道の段差は5cm。これはセミフラット形式と呼ばれており、現在の主流。        |
| (4) 車両出入口  | 三日町・十三日町は他の街区に比べて極端に車両出入口が少ないため、人と車両が交錯しないというメリットがある。その反面、路上駐停車が多い要因となっている。          |                                                               |
| (5) 停車状況   | 現在の車道幅は10m。両側に停車した場合、中央の6mの空間を1台の車が走行するという状況。                                        |                                                               |
| (6) 山車の運行  | 山車を全開にした時の幅は8m。段差（縁石）に腰かけて観覧する人が多い。山車の運行には、9m（3車線分）の幅が必要。                            |                                                               |
| (7) 歩行者通行量 | 令和5年度に実施した歩行者通行量を見ると、バス停のある北側の歩行者通行量が多い。これはコロナ前でも同様の傾向が見られた。                         |                                                               |
| (8) 自動車交通量 | 三日町地点の自動車交通量は減少傾向。12時間交通量（平日）は、H22～R5年の13年間で約2,000台（23.5%）減少。                        |                                                               |

## 4. 街路の再整備案について

### 基本仕様の考え方について

再整備の大前提である「**歩きやすさ**」「**三社大祭**」から基本仕様案を提示しました。

- (1) 歩道
- 平らで滑りにくく歩きやすい歩道に
  - 様々なシーンに応じて歩道と車道の一体的な利活用が可能に

- (2) 山車運行
- 山車が全開の状態で行うためには9m以内に配置する工作物は移動や脱着などが可能なものに限定。

### 空間配分の考え方について

人の空間は増えた方がいいけど、車社会の八戸。車道が狭くなることで不便になってしまっているのは困りますよね。

では、現状の車道の使い方は最適なのでしょうか？そこで我々は空間配分に対する一つの仮説をたてました。

→ **車の空間を最適化**することで**人の空間を生み出せる**のでは

#### (1) 車の視点

- 停車スペースの確保  
→ 現状の停車状況を踏まえ、左右に十分なスペースを確保。
- 渋滞  
→ 走行可能な2車線を確保。

#### (2) 人の視点

- 滞在や活動のための空間  
→ 部分的に歩道を拡幅し人のための空間を確保。
- 街路樹  
→ バス停付近や滞在・活動空間に重点的に配置。
- 街区の特徴に合わせた整備  
→ 沿道の建物（機能）に合わせた効果的な空間配置

現在と同じ車道幅で  
空間を最適化することが可能！

部分的に、実証試験と同程度の  
空間を確保することが可能！

## 4. 街路の再整備案について

### 続き 空間配分の考え方について

#### (3) ゾーニング

- 十三日町
  - ➡ 十分な停車スペースを確保。  
十三日町バス停は待合環境の拡充を。
- 三日町
  - ➡ 滞在や活動に活用できる広い空間を配置。

#### (4) バス停

- 実証試験
  - ➡ 2台分の停車帯を設置したが、3台以上の停車が相次ぎ、結果として走行車線の流れを阻害していた。
- 再整備案
  - ➡ バス停はストレート型（現在と同様）を採用して、バスの流れを円滑に。

街区ごとのアンケート結果から三日町は活動拠点、十三日町は十分な停車帯を

ストレート型にすることで  
車両の流れがスムーズに

今回のご提案は、あくまで空間配分の一例を示したものであり、引き続き以下の事項について検討していく必要があります。

- ・ 意匠やデザイン
- ・ 滞在空間の仕様
- ・ 停車スペースの運用ルール      など

## 4. 街路の再整備案について

十三日町

ヴィアノヴァ

ホーム

美都室ハニー

ホテルグローバルビュー八戸

村吟ビル

村根本店

旧三春屋

ドトール

旧チーノ

オオハシ  
ヒルズ

福土文具店

メガネの玉屋

おはな

花真ビル

ウシジマビル

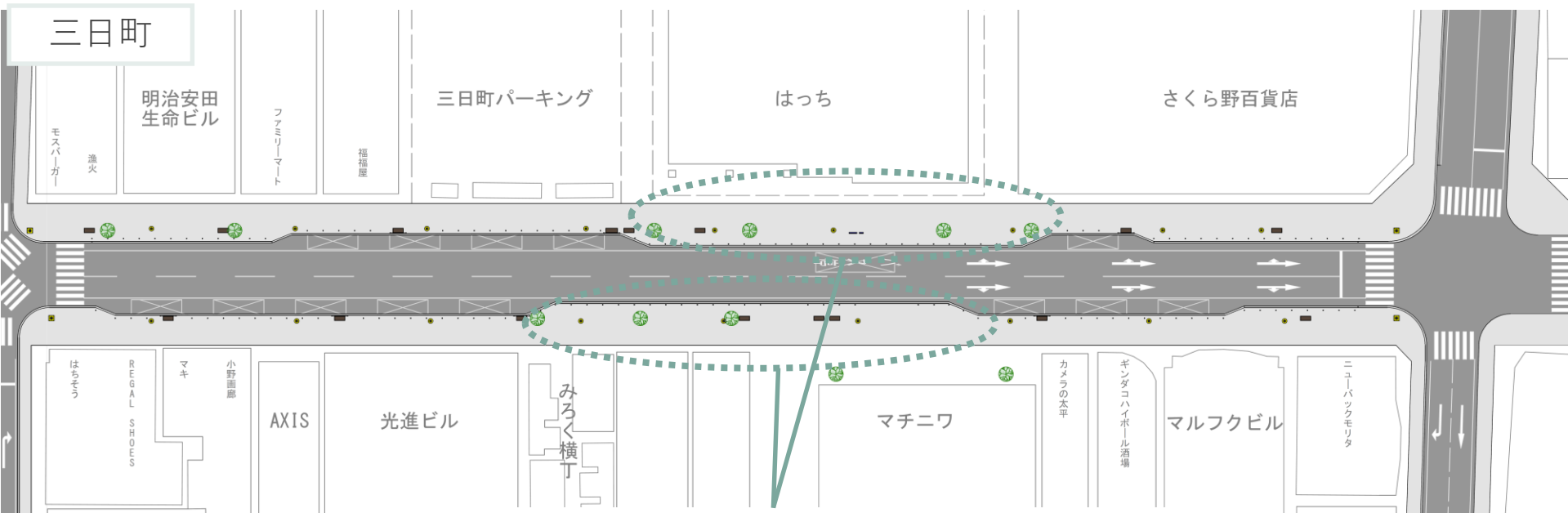
十分な停車スペースの確保

バス待合環境の拡充



## 4. 街路の再整備案について

三日町



滞在や活動に活用できる広い空間を配置



## 5. ワールドカフェまとめ

今回は以下のテーマと内容でワールドカフェ形式※で参加者の皆様からご意見をいただいたものを次ページ以降にテーマごとに掲載します。

### テーマ

- 街路と店舗
- 交通
- 空間配置・しつらえ
- 活動・ハレの日
- 天気と季節



### 内容

再整備のイメージ図から

- 感じたこと
- 気づいたこと
- 活用のイメージ

など

### ワールドカフェとは...

カフェのようにリラックスした雰囲気です。少人数に分かれてテーブルで自由に意見を出し合い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話をするので、参加した全員の意見や知識を共有することができます。対話手法の一つです。

今回は時間の都合で、各テーマについてのファシリテーターが皆様のご意見を最後にまとめて共有させていただきました。

# 活動・祭ハレの日

## 【三社大祭】

- ✿ 拡幅部分が脱着式ボラードになっており、三社大祭時ボラードを抜いて山車の運行を行うと思うが、観客が地上機器より前に出て観覧する恐れがあり危険であることから、**観覧者に対する注意喚起**が必要と考える。

## 【イベント】

- ✿ 普段から街路にイスやテーブルが出すようにしていれば、それをそのまま使用することで**ホコテンの設営の労力も少なくなる**のではないかな。
- ✿ 広がったスペースで**定期的なイベントが開催**出来たらいい（ホコテンまで行かない軽いイベントでも）。
- ✿ イベント時は、主催者側による**ごみ箱設置とトイレ設置**が必要。
- ✿ スペースは、出店＋イベントなど、**複数の要素を組み合わせた活用**によって効果が上がる。
- ✿ **停車帯は、キッチンカーを置くスペース**として賑わいづくりで活用できたほうがいい。（特に休日）
- ✿ 出店やキッチンカーが**連続して配置できるスペース**があればいい。
- ✿ **冬のイベントが無い**ので、冬の楽しみ方としてクリスマスマーケットのようなことができればいい。
- ✿ 毎週日曜日には何かやっているなど、**ホコテンにしない賑わいづくり**ができるのではないかな。



## 【観光】

- ✿ 観光客向けのサイネージの設置。**充電、周辺MAP、電話などの機能**付き。
- ✿ **観光面での案内機能**があればいい。（場所柄、問い合わせが多い）
- ✿ 空間使いとして**デジタルサイネージが点在**すれば、商売の面や滞在・回遊の面で有効でないかな。

# 街路と店舗

## 【魅力的な店舗】

- ✿ 特定の目的地に用事がある方でも別に気軽に立ち寄れる場や、高校生でも小遣いを落とせる場所があれば。
- ✿ 「今日、何があるかな？」と期待してくるようなまちにしたい。
- ✿ 現状は飲食店に偏っているが、ミニスーパーや生活雑貨、お土産屋など多様なサービスが必要。
- ✿ 通りにおけるディスプレイが大切である。季節の飾りつけなど統一的なもので雰囲気作りを。
- ✿ キッチンカーを呼ぶにしても場所の利用にあたって一定のルールが必要である。
- ✿ 十三日町にもキッチンカーを定期的に呼ぶとよい。
- ✿ キッチンカーに頼るのではなく、固定の店舗で勝負する人を行政もバックアップしてほしい。
- ✿ 顧客ターゲットを生活者なのか、観光客なのか絞る必要があるのでは。それぞれに対する魅力的な店舗は違うので。

## 【空き店舗解消】

- ✿ 空き店舗を使ってお試し的な出店ができればいい。（中心街のにぎわいとスタートアップのために）
- ✿ 街路を変えるだけではなく、空き店舗が出る原因を掘り下げて検討し、フランチャイズを含めた空き店舗対策の支援も同時に行っていくべきではないか。
- ✿ 三春屋を市で買い取り、映画館を入れてほしい。行政が大ナタを振るってほしい。

## 【その他】

- ✿ 中心街の防犯・安全のために中心部に交番があつたほうが良い。



ご心配いただいております内容につきましては、**緑字**で回答しております。

## 【渋 滞】

- ✿ 再整備案のような線形になるのであれば、右左折車両が詰まらないように**歩車分離信号の設定などの再調整**を考えてみては。
- ✿ 東日本大震災の際避難者が車ではっちに殺到し渋滞が生じたことから災害時のことも考えた整備案にするべきでは。
- ✿ この線形であれば**渋滞は心配ない**。
- ✿ **多少の渋滞があることも中心街らしくていいのではないか**。
- ✿ 十三日町バス停前とウシジマビルの前の車線減少は渋滞が懸念される。
- ✿ **走行車線 2 車線が確実に保たれるルール作り**。

## 【バ ス】

- ✿ はっち前は、道路を横断する歩行者が多い。バス停があると道路を横断しにくくなるため、バス停の西側に**横断歩道を設けて**はどうか。
- ✿ はっちの裏の道路は大型車両進入禁止であるため、**はっち前に観光バスが停まる**ことがことがあるが、このバスが停車できるか心配。
- ✿ **バス停は停車帯タイプ**としたほうが、左折する車にとっては利便性が良い。
- ✿ 案では停留所がストレートなので、数台バスが連なった場合はバス側の車線が渋滞して実質一車線になるのでは。
- ✿ 十三日町交差点について。ヤグラ横丁から三日町方面に右折する際、現状でもバスが大回りするため再整備案で**歩道側にバスがせり出してこないか**が心配。バス事業者等と調整し、線形の修正が必要か確認しながら進めてまいります。
- ✿ 街路がフラットになることで**バスステップとの高低差**が気になる。
- ✿ バスに関してはどの時間にどのくらい連なるのか、これでいいのか**しっかりシミュレーション**すべき。
- ✿ 十三日町の停車帯が長いので、その**一部をバス用の停車帯**にした方がいいのではないか。

## 【タクシー】

- ✿ 夜間は客待ちのタクシーや代行業者が多いため、夜は**停車帯の一部をタクシーの優先ゾーン**としてはどうか。
- ✿ 他都市の中心街では**タクシーの乗降場所を設けている**例もある。
- ✿ 各街区に**タクシー専用の停車スペース**を設けてはどうか。



## 【停車帯の配置】

- ❖ 店舗の荷捌き車両、塾や保育園への送迎のほか、短時間駐車で買い物するお客さんで成り立っている店舗もあるため、そういった様々な**沿道の店舗などが困らないように**考えてほしい。
- ❖ 現状の停車の様子だと**マチニワ前の停車スペースが不足**しているように思えるので増やしてほしい。
- ❖ 整備案のとおり**両側に停車帯**があることはいいのではないか。
- ❖ 両街区ともに停車帯が多すぎる。十三日町側の停車帯はもう少し少なくてもいいのでは。(イベント時のボラード脱着も手間)
- ❖ 実証試験でもそうだったが荷捌き車両が停車帯からはみ出ないか心配。**停車帯の取り合いにならないか。**
- ❖ 停車帯がこれだけ取ればいいが、人口減少が進み、2,30年後に今のようにバスや人がいるか。**本当に広い歩道が必要か。**
- ❖ 高齢者が増え、車の乗り降りで**停車帯がもっと使われるようになる**可能性がある。
- ❖ 今回の案では、十三日町に停車帯を多く配置しているが、将来的に魅力的な店舗が沿道に張り付いた場合、**広い歩道が必要になる可能性もあるのではないか。**

## 【停車帯のルール】

- ❖ このように停車スペースを確保すると**長時間駐車する方が出てくるのではないかと懸念**している。長時間駐車に対する**ルールが必要**。
- ❖ 停車帯のルールの**守り方は？**ルールを作って終わりじゃない。自動的に**一定時間を超える駐車を報告**する仕組みなどが必要なのでは。
- ❖ 街が元気になって人が増えれば、**人の目が気になって長時間駐車が減る**と思う。
- ❖ 駐停車しているドライバーに対する**あいさつ運動**などの声かけを行うことで、心理的に訴えれば、不要な駐停車が減るのではないか。
- ❖ 長時間駐車対策として**コインパーキングを設置**してはどうか。
- ❖ コンビニなどで既に導入されている**スマートパーキングという仕組み**を使ってはどうか。スマホで予約・精算をして駐車する権利を取得する仕組みのため、機器などもない。
- ❖ この線形のままで**街路全体を駐車禁止**として運用するのが妥当だと考える。

# 空間配置・しつらえ①

## 【ベンチ・滞在空間】

- ❁ せっかく拡幅するのであればその部分にはベンチを設置した方がいいのでは。また、ベンチと樹木はセットの方が良い。
- ❁ 滞在ベンチは屋根付きに。移動できると良い。
- ❁ 地上機器の隣にベンチを設置すればよい。
- ❁ 滞在空間のイステーブルの管理は誰が行うのが課題。



## 【ボラード（車止め）】

- ❁ ボラードは着脱式よりも埋込式・収納式としたほうが、作業負担がだいぶ軽減される。
- ❁ マチニワ前が2車線なった場合、マチニワに山車が入れるようにボラード位置など配慮してほしい。
- ❁ ボラードが脱着式だと冬に水が入り、凍ると抜けなくなったり、はめ込むことができなくなる。
- ❁ 山車運行時にボラードを外して、再度着ける作業は大変ではないか。
- ❁ 長横町のようにボコボコのボラードになってくると耐久性に問題が出てくると思うので点検は重要である。
- ❁ 三日町交差点はホコテンの活用を考えて車道に収納式の車止めがあればいい（現在はホコテン時は車両を駐車して侵入を防いでいるため）。

## 【空間の使い方】

- ❁ パフォーマンスなどができるステージの設置。安全性を確保し、ルールを決めた上で。
- ❁ 八戸は確かに寒いが他都市に比べて歩行者は多い。イステーブルを並べるなど、休憩できる溜まり場があればいい。
- ❁ テイクアウトして座って飲食できるイスベンチがあればいい。
- ❁ 空間ができることで、内外からいろいろやりたい新しい人が出てきて相乗効果が生まれるのでは。
- ❁ 事業者が簡単な手続きだけで出店できるスペースがあればいい。

## 【舗装材料】

- ❁ 歩道と車道とは違う色とすることで、歩行者にもドライバーにもわかりやすくなるのではないかな。
- ❁ タイルよりインターロッキングとなれば除雪はしやすくなると思う。
- ❁ インターロッキングの耐久性はどの程度のものか。八戸は雪より氷が問題で舗装材の透水性、耐久性は大事である。

## 【日よけ・雨よけ】

- ❁ 歩道が広がり滞在空間ができて夏の日差し対策は必要ではないか。
- ❁ 樹木ではない日よけ、雨よけを設置してもいいのでは。
- ❁ 日除けのタープがあればいい。雨や風対策になるのでは。<sup>13</sup>

# 空間配置・しつらえ②

## 【緑・街路樹】

- ❖ 北側は日当たりが良いため、今回の案よりも更に北側に重点的に街路樹を配置した方が良いと思う。
- ❖ 南側の街路樹を減らせば、雪が溶けやすいといったメリットにもなる。
- ❖ 木の本数だけで考えるのではなく、北側に大きく育つ種類、南側は低い木を植えるという考え方もある。
- ❖ 十三日町のケヤキが大きすぎる。根がすごく歩道やステンレスの柵が隆起している。落ち葉の片付けが大変。
- ❖ 店舗が減っている中、広葉樹は落ち葉の処理が大変である。除雪についても同様。
- ❖ 樹木のせん定は道路管理者である県が行っているが、落ち葉などの処理は商店街で行っている。
- ❖ 十三日町と三日町の樹木を統一したものにしてはどうか。背丈もケヤキのように大きなものではなく管理しやすい背丈で。
- ❖ 十三日町の街路樹は高すぎて緑を感じられにくいいため、目線の高さのものもあるといいと思う。
- ❖ 官庁街のように桜並木にしてお花見できるのも。
- ❖ 滞在空間に街路樹を設置してはどうか。
- ❖ 必ずしもグリーンでなくても、皆が癒しを感じられる何かがあれば良いのでは。
- ❖ そもそも樹木を植える目的は何なのか。代替の機能は？適切な樹木のボリュームは？
- ❖ 冬の集客のため、街路樹を使ったイルミネーション実施はどうか。

## 【歩車道の段差・歩きやすさ】

- ❖ 歩道と車道の段差はない方が良い。
- ❖ 車いすやベビーカー利用の方でも安心して通行できる歩道を。

## 【その他】

- ❖ 普段でもイルミネーションしているようなライトに。例えば、樹木を下から照らす埋め込み型のアップライト設置など。
- ❖ 統一感のあるストリートに整備をしてほしい。



目線の高さの緑の例

# 天気と季節

ご質問いただいております内容につきましては、**緑字**で回答しております。

## 【除雪】

- ❁ 今後商店街だけで除雪ができるのか。
- ❁ 除雪をする**人出が足りない**。そのような中で**歩道を拡幅するとさらに除雪が大変になる**のではないかな。
- ❁ 歩道全部を除雪するのではなく、**人が2人歩ける分除雪**をするなど**商店街でルールづくり**をしてはどうか。
- ❁ **雪を捨てる側溝**は大事である。現在の側溝だと凍った際に処理能力が足りないと感じている。
- ❁ 予算があれば**ロードヒーティング**にしてはどうか。
- ❁ 八戸で**融雪溝**を設置しているところはあるのか。
  - ➡ 市内では南郷地区のごく一部のみに設置されている状況です。
- ❁ 現在は車道部分を除雪してくれているが整備案のとおり整備した場合、**停車帯の除雪もやってくれるのか**。（走行部分だけ除雪し停車帯に雪が溜るのではないかな）
  - ➡ 六日町などの停車帯も除雪しておりますので技術的に可能です。
- ❁ 街路樹をやめ、**ソーラーパネルを設置して蓄電した熱を融雪に**使ってはどうか。



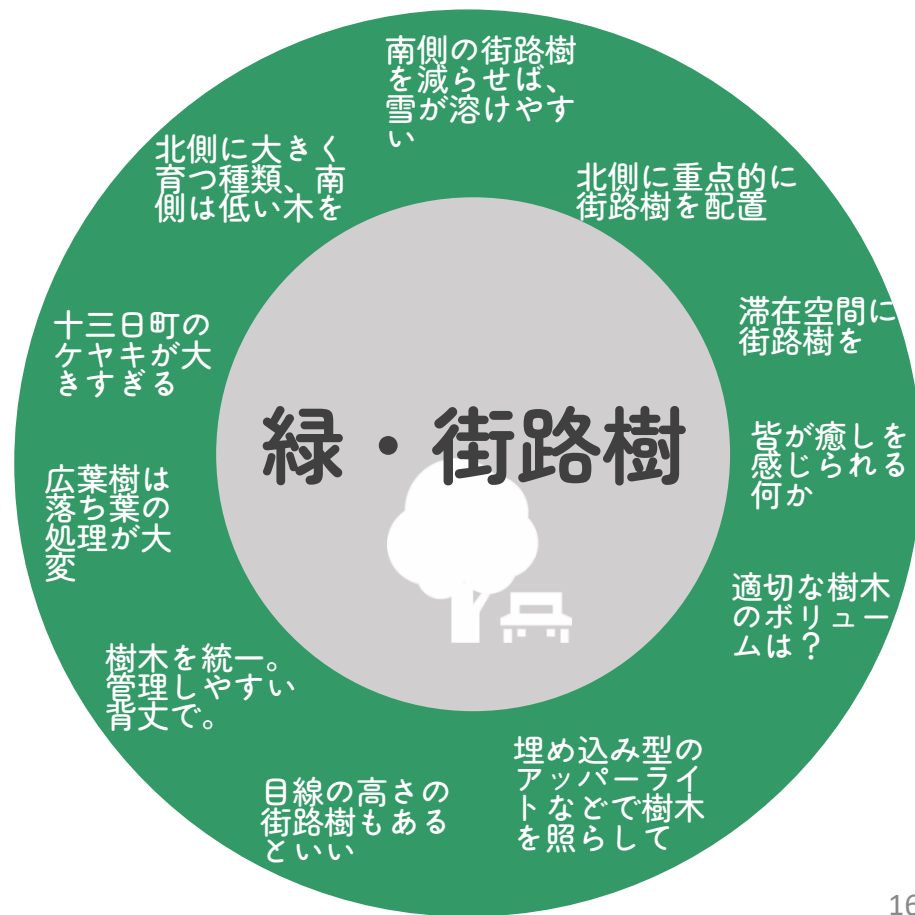
## 【日よけ】

- ❁ 過去に設置されていたとのことだが、**アーケードはあったほうがいいのか**では。
- ❁ 表通りは北側に日差しが当たるので、**北側だけでもアーケードがあればいい**。
- ❁ アーケードは**蜘蛛の巣の掃除など管理が大変**である。

## 6. 全体のまとめと今後について

### 今回特に関心が高かったもの

第9回でみなさまから特にご意見を多くいただいた項目は、「停車スペースのルール」と「緑・街路樹」でした。



# 新たなアイデア

今回いただいたご意見の中での新しいアイデアをイメージ画像とともにまとめました。

## 街路樹のライトアップ



## 冬のイベント



## 緑以外の癒し（ミスト噴射）



## 停車帯にキッチンカーを



## 樹木以外の日よけ（タープ）



## 観光案内



## デジタルサイネージ



# 今後について

国道340号三日町・十三日町区間は、前回の整備から30年ほどが経過して歩道の劣化等が目立つところですが、現在や将来の街の使われ方を想定しながら、中長期的な視点で歩車道の整備のあり方を一体的に検討してきたところです。

第9回勉強会では、これまでの勉強会で出された意見や実証試験「みちニワ」の結果、第8回勉強会ワークショップ及びその後に実施したアンケート結果を基に、皆様が「街路の整備において何を重視するか」を踏まえて、具体的な整備案を例示して意見を伺ったところです。

今後は、これまで皆様と積み上げてきた話し合いを活かして、街路の整備の方針や使い方の方向性を定める「ビジョン」を市で策定していきたいと考えております。また、道路管理者の青森県と「ビジョン」を共有しながら、引き続き、沿道関係者、市、青森県とが連携しながら具体的な整備に繋げていきたいと考えております。

今回、「ビジョン」を定めるためのアンケートを実施しますので、今後の街路づくりの方向性を定める重要なアンケートとなりますのでご協力くださるようお願いいたします。

また、具体的な整備内容を決めていくにあたって、引き続き、皆様から意見を伺ったり報告する機会を設けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。